

## 平成 29 年度行政評価市民アンケート結果

### 1 アンケート調査の実施概要

#### (1) 目的

みよし市の行政運営を評価する場合において、総合計画に掲げた 22 の施策における各取組に対する満足度、重要度について市民の皆さまの考えをお聞きすることにより、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しています。

#### (2) 調査期間

平成 29 年 11 月 24 日（金）【発送】～平成 29 年 12 月 22 日（金）【返信締切】

#### (3) 調査対象者

18 歳以上の市民の方 1,000 名を住民基本台帳から無作為に抽出しました。

#### (4) 調査方法

調査対象者の属性に関すること、みよし市の住みやすさなど市全体に関することのほか、下記の 22 項目に区分した市の取組事項に対する満足度、重要度及び総合的な満足度を 4 段階で区分し調査しました。調査票は、郵送により配布し同封した返信用封筒により回収しました。

政策名	設問	設問の概要
人と自然が共生する快適な環境	1-1	地域の特性を活かし、調和のとれたまちについて
	1-2	緑に包まれ、水と親しむ、快適で美しいまちについて
	1-3	環境と人にやさしいまちについて
健康で生きがいのある暮らし	2-1	みんなで助け合える福祉のまちについて
	2-2	生涯健康で安心して暮らし続けられるまちについて
	2-3	生きがいを持って楽しく暮らせるまちについて
	2-4	文化・芸術に親しみ、育むまちについて
	2-5	生涯スポーツができ、健康で元気なまちについて
安全で安心して住み続けることができる地域	3-1	安全で快適な住環境が整ったまちについて
	3-2	誰もが安心して出かけられるまちについて
	3-3	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまちについて
魅力ある活力とにぎわいのまち	4-1	効率的で安定的農業を育むまちについて
	4-2	環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまちについて
	4-3	にぎわいと交流のあるまちについて
	4-4	多様な文化に親しみ、ふれあえるまちについて
	4-5	連携と友好のきずなで築くまちについて
社会と次代を担う自立した人材の育成	5-1	安心して子どもを産み、育てられるまちについて
	5-2	豊かな心と個性が輝くまちについて
	5-3	地域で青少年を支えるまちについて

政策名	設問	設問の概要
市民と行政の協働による自立した自治体経営	6-1	誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進について
	6-2	市民サービスを高める行政運営の推進について
	6-3	健全で安定した財政運営について
総合満足度	7	総合的に考えた場合の満足度について

#### (5) 回収結果

アンケートは、362人（36.2%）の方から回答をいただきました。性別、年齢、居住地区などの詳細は、以下のとおりです。

#### (性別・年齢別一覧)

区分	対象者数	配布数 (A)	構成比	回収数 (B)	構成比	回収率 (B/A)	
総計	48,577	1,000	—	362	—	36.20%	
性別	男性	25,035	515	51.50%	156	43.09%	30.29%
	女性	23,542	485	48.50%	204	56.36%	42.06%
	性別未記入	—	—	—	2	0.55%	—
年齢	18～29歳男性	4,848	105	10.50%	23	6.35%	21.90%
	18～29歳女性	4,065	78	7.80%	19	5.25%	24.35%
	30～39歳男性	4,308	88	8.80%	13	3.59%	14.77%
	30～39歳女性	3,710	73	7.30%	34	9.39%	46.57%
	40～49歳男性	5,430	108	10.80%	34	9.39%	31.48%
	40～49歳女性	5,364	103	10.30%	47	12.98%	45.63%
	50～59歳男性	4,120	82	8.20%	28	7.73%	34.14%
	50～59歳女性	3,570	77	7.70%	33	9.12%	42.85%
	60～69歳男性	2,903	54	5.40%	25	6.91%	46.29%
	60～69歳女性	2,915	58	5.80%	28	7.74%	48.27%
	70歳以上男性	3,426	78	7.80%	33	9.12%	42.30%
	70歳以上女性	3,918	96	9.60%	43	11.88%	44.79%
年齢未記入	—	—	—	2	0.55%	—	
居住地区	きたよし	24,917	486	48.60%	174	48.07%	35.80%
	なかよし	18,798	413	41.30%	148	40.88%	35.84%
	みなよし	4,862	101	10.10%	34	9.39%	33.66%
	地区未記入	—	—	—	6	1.66%	—

対象者数は、平成29年11月1日現在の18歳以上の人口

#### (6) 今後の活用方法

行政評価における施策評価、事務事業評価において、本アンケートを平成29年度の実績値としてとらえ、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

## 2 アンケート調査結果

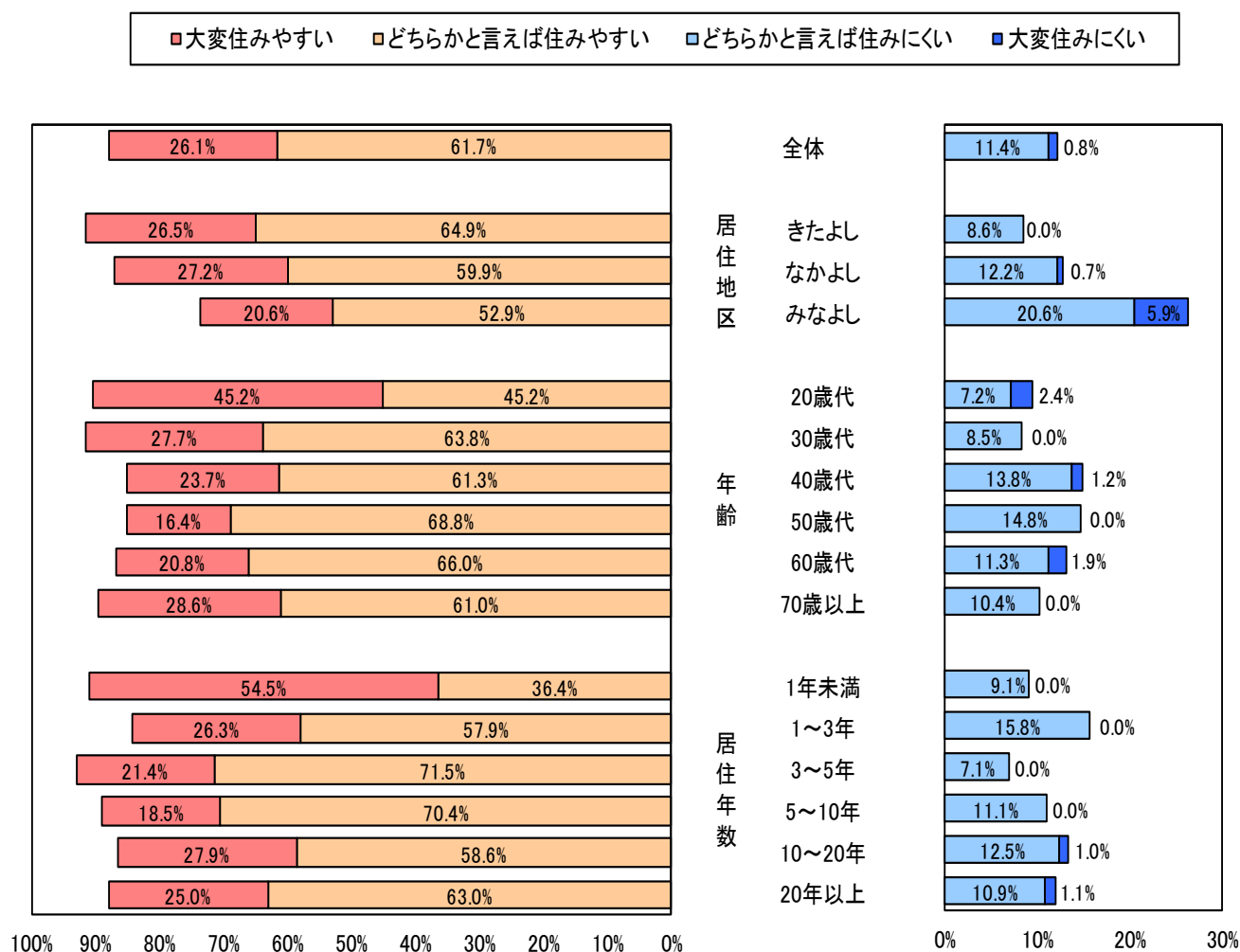
### (1) 住みやすさについて

みよし市の住みやすさについて、「どちらかといえば住みやすい」が 61.7%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が 26.1%と、およそ9割(87.8%)の人が“住みやすい”と評価しています。一方、「大変住みにくい」(0.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(11.4%)を合わせた、“住みにくい”とした人はおよそ1割(12.2%)となっています。

世代別でみると、“住みやすい”とした人の割合は、「30歳代」が最も高く91.5%で、次に「20歳代」の90.4%で、最も低いのが「40歳代」の85.0%となっています。さらに、居住年数別では、「3年以上5年未満」の92.9%、「1年未満」では90.9%の人が“住みやすい”と回答しています。また、今後も住み続けたいかという問いに対しては、89.9%の人が「今後も住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と答えています。

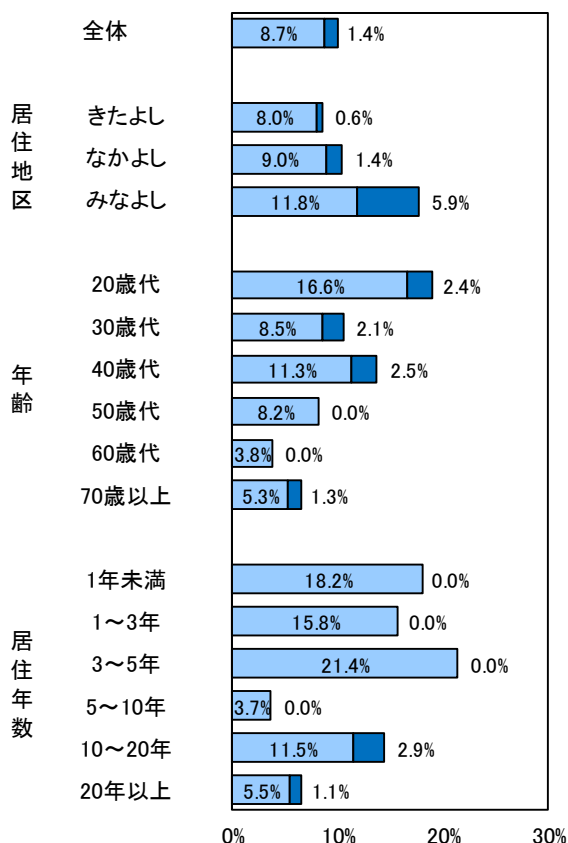
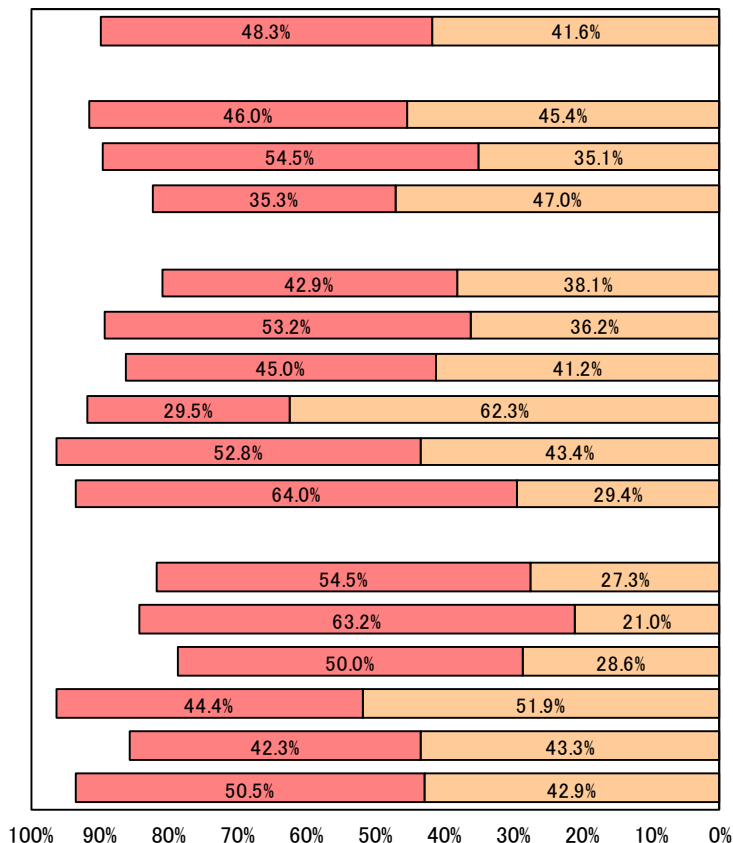
“住みやすい”と思う主な理由としては、「自然環境がよい」(136件)「住環境がよい」(118件)、となっています。その他の理由としては、「市外への移動がしやすい」などの意見がありました。一方、“住みにくい”と思う理由は、「電車・バスなどの交通の便が悪い」(38件)、「買い物などの利便性が悪い」(24件)となっています。その他の理由としては、「道路の騒音」などの意見がありました。

【住みやすさ】



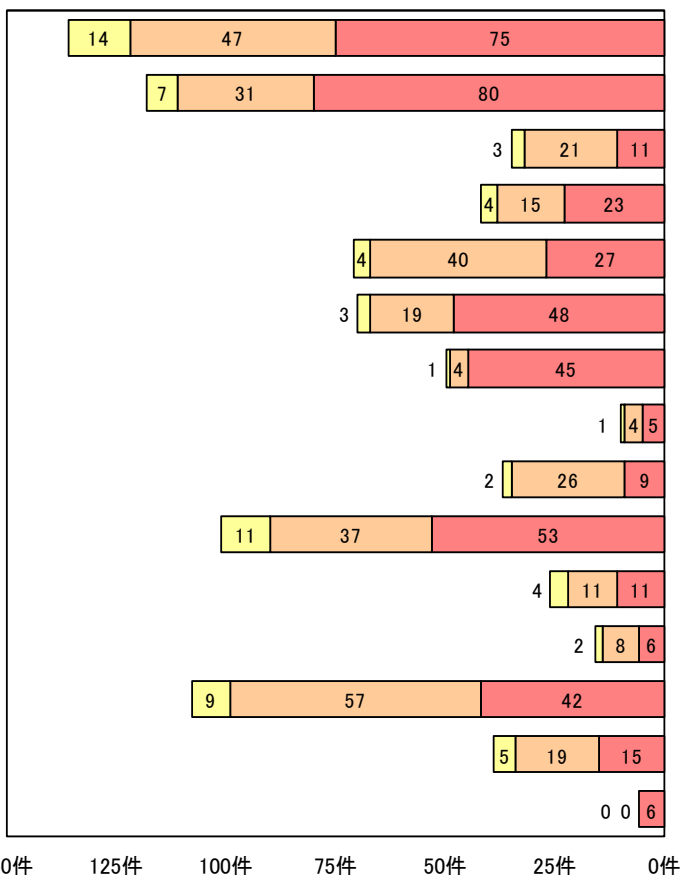
### 【今後も住み続けたいか】

■ 今後も住み続けたい □ どちらかと言えば住み続けたい □ どちらかと言えば住み続けたくない □ 住み続けたくない



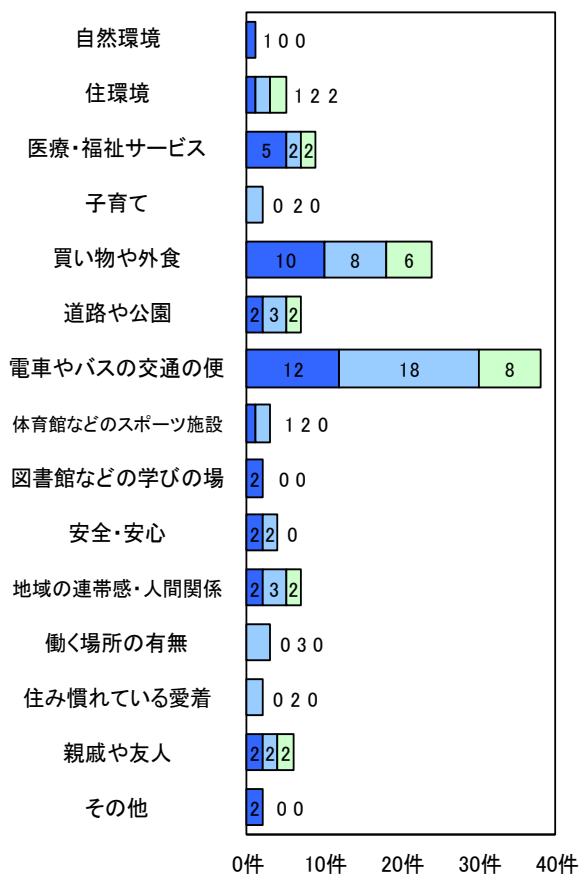
### 【住みやすいと思う理由】

□ みなよし □ なかよし □ きたよし



### 【住みにくいと思う理由】

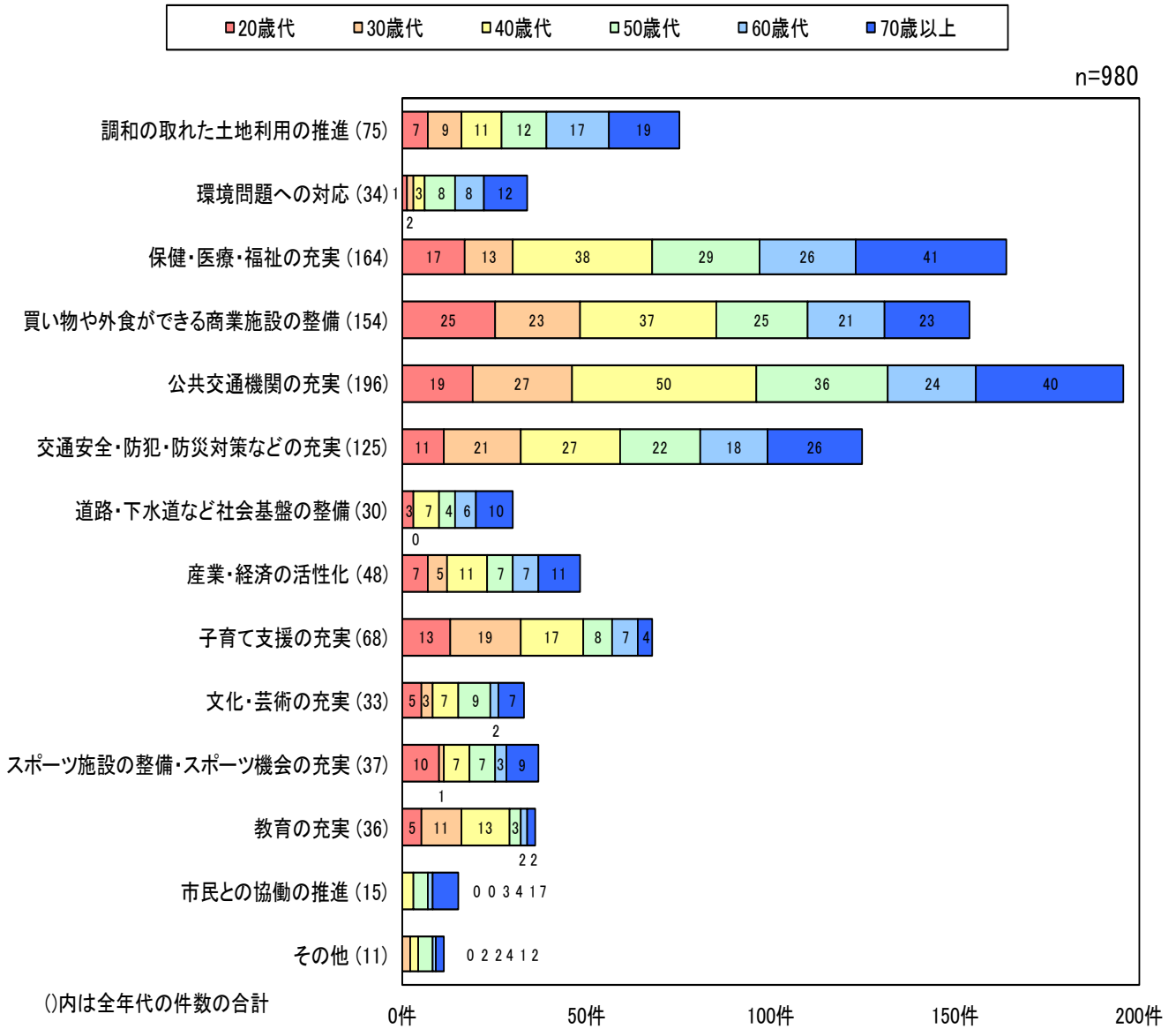
■ きたよし ■ なかよし □ みなよし



(2) 「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことについて

「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことの問いに対しては、「公共交通機関の充実」(196件)が最も多く、次いで「保健・医療・福祉の充実」(164件)、「買い物や外食ができる商業施設の整備」(154件)となりました。

【住みよいまちとするために重点的に取り組むこと】



※市民協働…行政と市民が自らができる役割を担い、ともに協力して課題の解決に向けた取り組みを行うこと

(3) 市の取り組み（施策）項目別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、総合計画における6つの基本目標を実現するための手段となる22項目に区分した市の取り組み（施策）に対する個別の満足度・重要度と、市の取り組み全体に対する総合的な満足度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価得点をつけて、回答者による平均得点を算出し評価指標としました。

満足度	得点	重要度	得点
満足	5点	重要	5点
やや満足	4点	やや重要	4点
普通	3点	あまり重要でない	2点
やや不満	2点	重要でない	1点
不満	1点	わからない	—

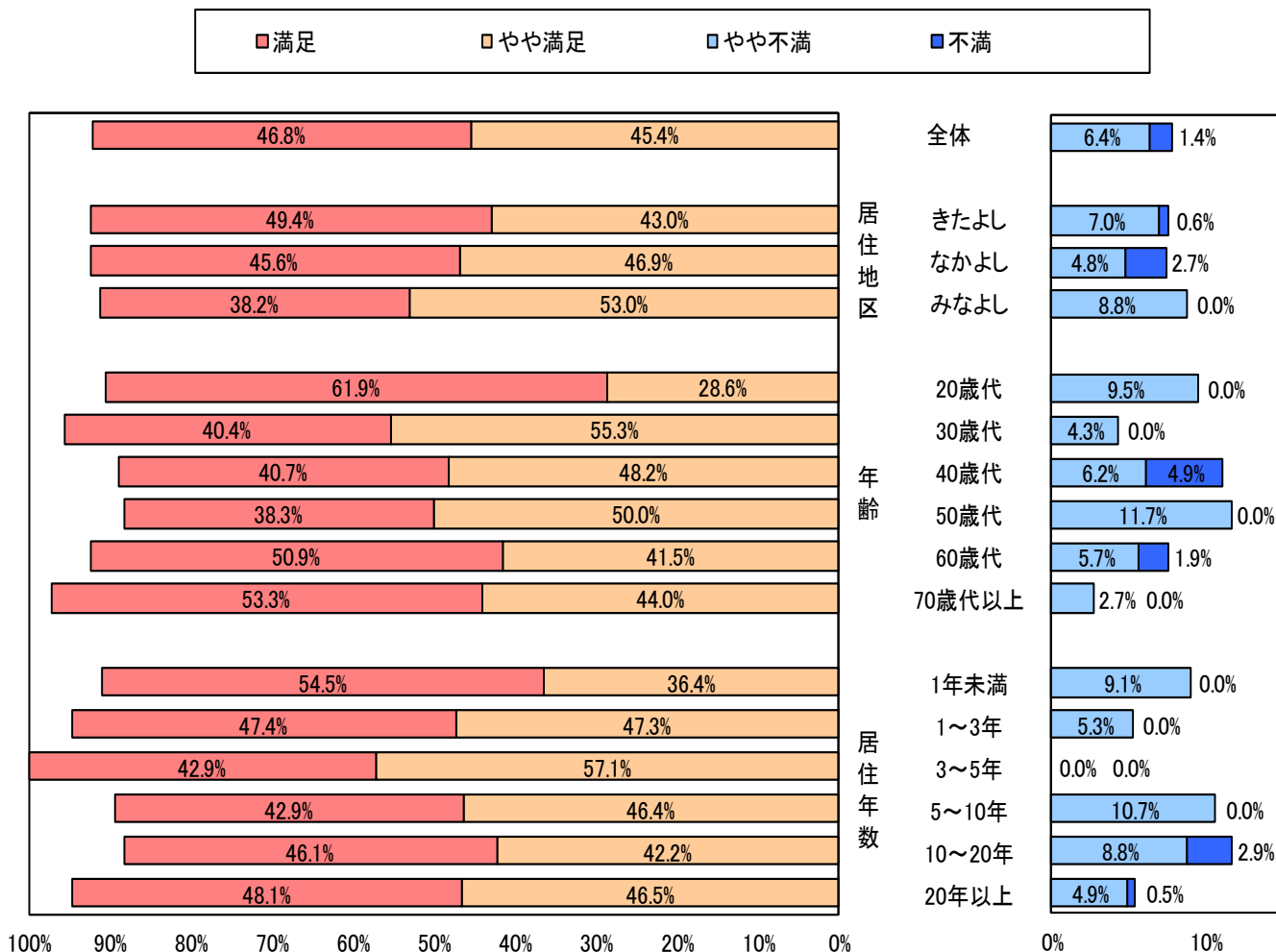
ア 総合的な満足度（質問7）について

今回の調査による平均得点は、3.902点の「やや満足」の水準であり、調査対象者のうちおよそ9割(92.2%)の人が「満足」、「やや満足」と答えています。

世代別でみると、「70歳以上」の97.3%が「満足」、「やや満足」と答えており、「満足度」が高いことがうかがえます。一方、「満足度」が最も低いのは、「50歳代」で、「満足」、「やや満足」と答えた割合は88.3%にとどまっており、11.7%の人が「不満」、「やや不満」と答えています。

居住年数別では、「満足」、「やや満足」と答えたのは「3年以上5年未満」が100.0%と「満足度」が最も高く、「10年以上20年未満」になると88.3%にとどまっています。

【総合満足度】

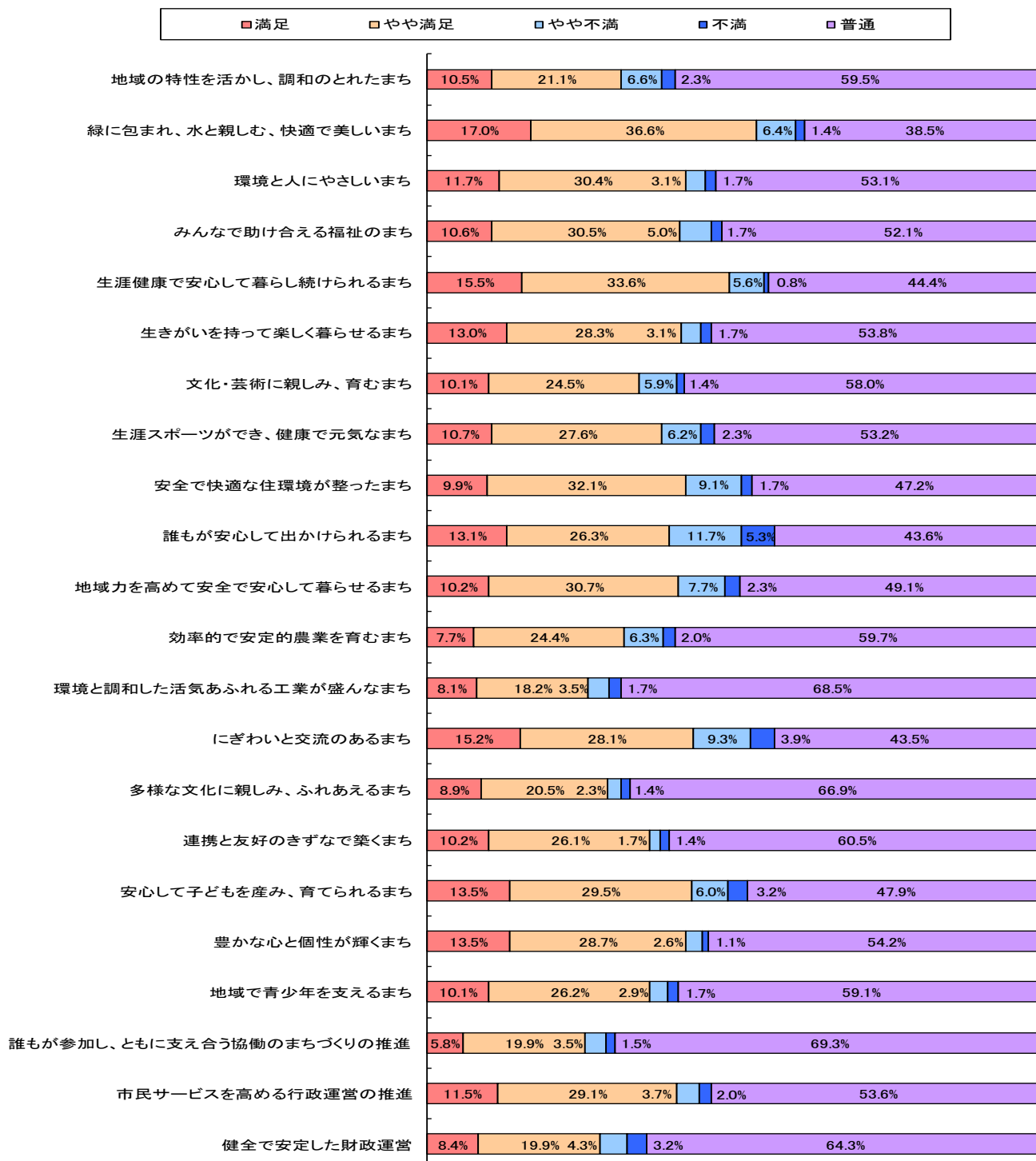


## イ 項目別満足度について

項目別満足度の平均得点は3.370点で、「生涯健康で安心して暮らし続けられるまち」の3.853点と、「誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進」の2.839点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

- |                                 |                                       |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1位 生涯健康で安心して暮らし続けられるまち (3.853)  | 18位 効率的で安定的農業を育むまち (3,125)            |
| 2位 にぎわいと交流のあるまち (3.708)         | 19位 健全で安定した財政運営 (2,974)               |
| 3位 安心して子どもを産み、育てられるまち (3.639)   | 20位 多様な文化に親しみ、ふれあえるまち (2,968)         |
| 4位 緑に包まれ、水と親しむ、快適で美しいまち (3.615) | 21位 環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまち (2,867)     |
| 5位 安全で快適な住環境が整ったまち (3.599)      | 22位 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進 (2,839) |

【満足度】

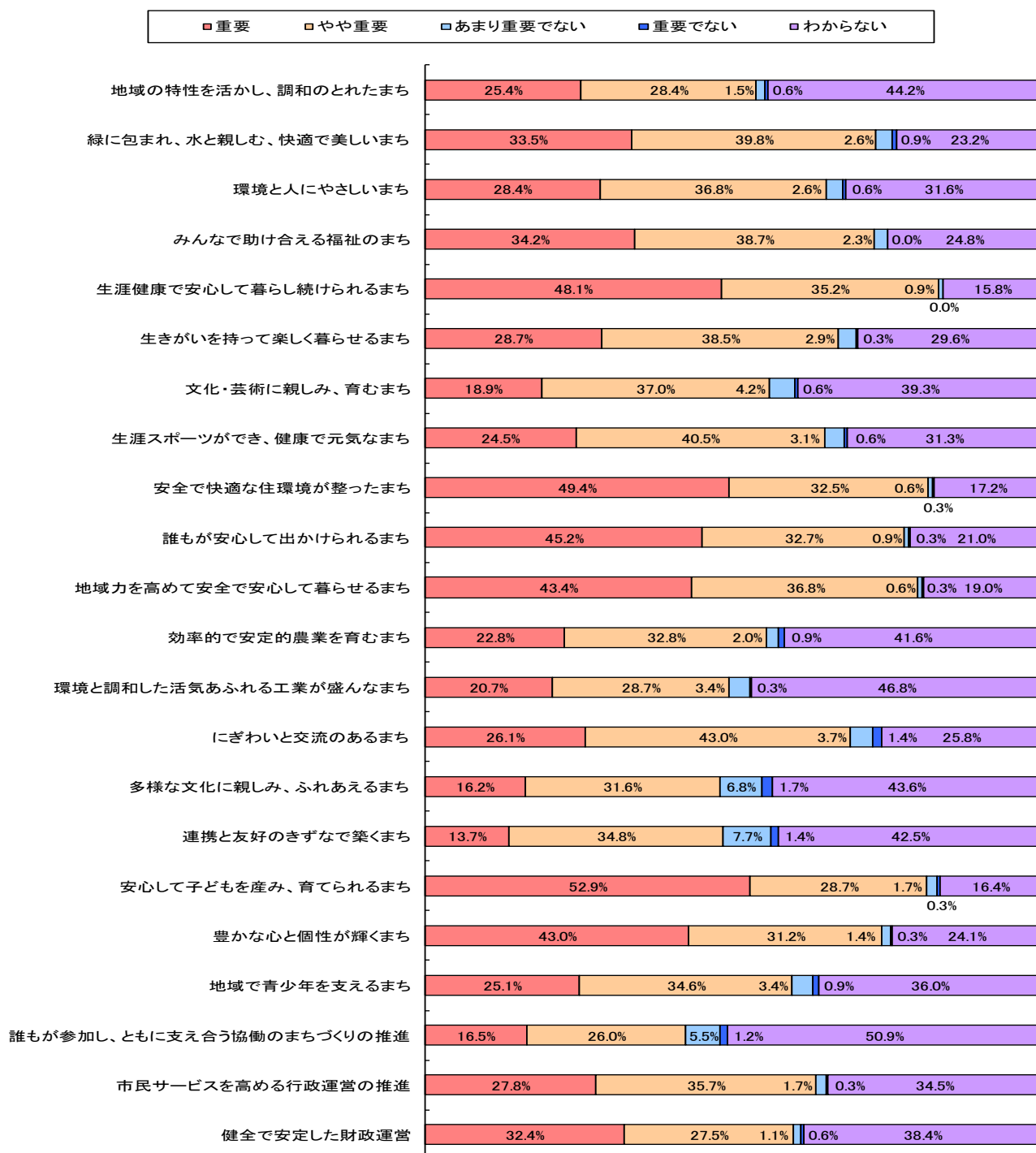


## ウ 項目別重要度について

項目別重要度の平均得点は 4.321 点で、「安心して子どもを産み、育てられるまち」の 4.851 点と、「連携と友好のきずなで築くまち」の 3.896 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

- |                                |                                       |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1位 安心して子どもを産み、育てられるまち (4.851)  | 18位 にぎわいと交流のあるまち (4.193)              |
| 2位 安全で快適な住環境が整ったまち (4.573)     | 19位 文化・芸術に親しみ、育むまち (4.144)            |
| 3位 生涯健康で安心して暮らし続けられるまち (4.551) | 20位 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進 (4.041) |
| 4位 誰もが安心して出かけられるまち (4.540)     | 21位 多様な文化に親しみ、ふれあえるまち (3.955)         |
| 5位 豊かな心と個性が輝くまち (4.517)        | 22位 連携と友好のきずなで築くまち (3.896)            |

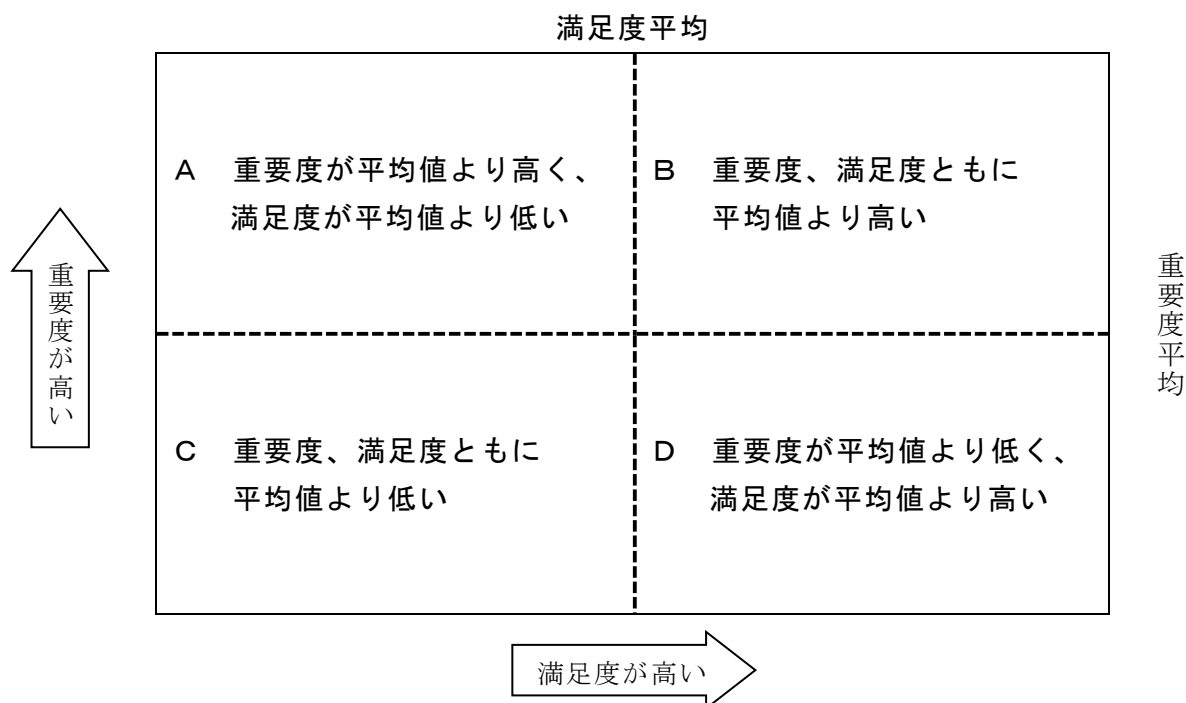
【重要度】





## エ 重要度、満足度の平均値散布図による分析（重要度・満足度の散布図を参照）

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



Aの領域・・・取り組みの必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実を求められていると考えられます。このため**従来の取り組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目**としてとらえることができます。

「健全で安定した財政運営」、「地域の特性を活かし、調和のとれたまち」が該当します。

Bの領域・・・取り組みの必要性は十分認識され、その取り組みにも満足されているものと考えられます。このため**今後も現在の水準を維持していく項目**としてとらえることができます。

「生涯健康で安心して暮らし続けられるまち」、「安心して子どもを産み、育てられるまち」などが該当します。

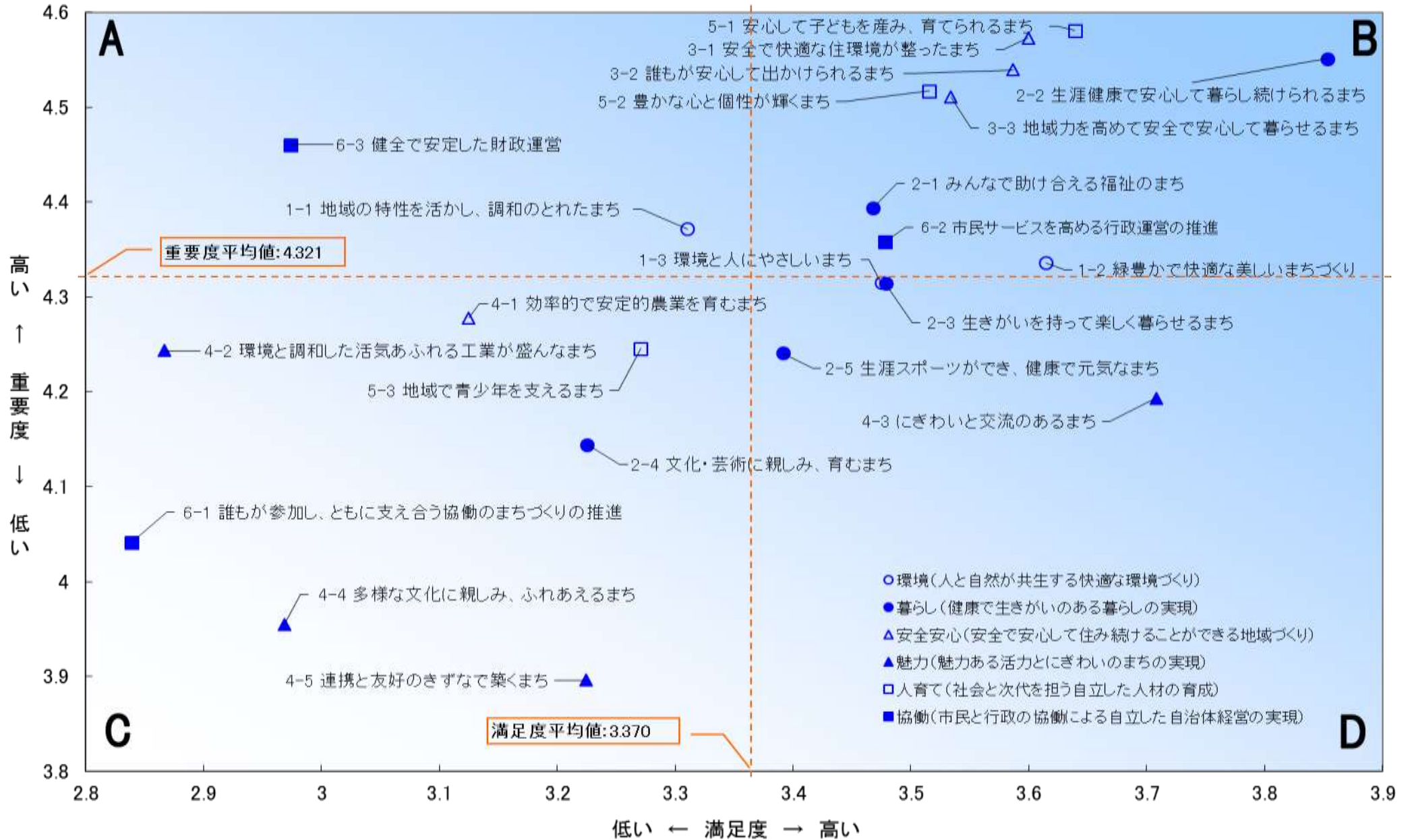
Cの領域・・・取り組みに対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、**今後取り組みの見直しなどを検討する必要がある項目**としてとらえることができます。

「誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進」、「多様な文化に親しみ、ふれあえるまち」などが該当します。

Dの領域・・・取り組みの必要性は低いが、満足されているものと考えられます。**今後も現状のまま保つ維持項目**としてとらえることができます。

「にぎわいと交流のあるまち」などが該当します。

# 29年度 重要度・満足度の散布図

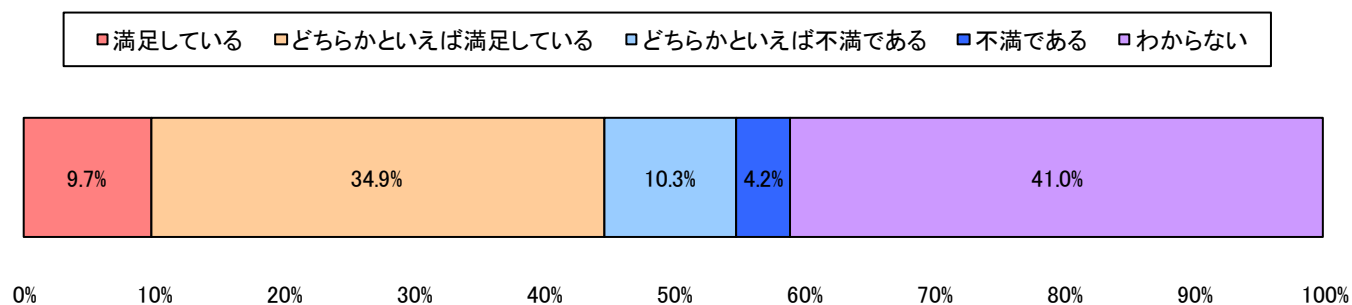


### 3 その他（市の職員の仕事ぶりについて）

市の職員の仕事ぶりについては、44.6%の人が「満足している」、「どちらかといえば満足している」と答えており、「わからない」を除くとおよそ8割弱(75.5%)の人が“満足している”と評価しています。一方、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ人のうち、もっとも多かった理由は「対応や態度が悪い」で36.7%でした。

その他の意見として、「職員の知識不足」、「事務的」等のご意見をいただきました。いただいた意見を真摯に受け止め、市民から愛される職員を目指し、より一層職員の意識を高めていきます。

【職員の仕事ぶりについて】



【「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ1番の理由】

